

SCHEDULE 2023 - 2024

4月 / April
2022年度活動報告会 (4/24.27.28)
2023年度プロジェクト学内公募 (4/17~5/15)

5月 / May
2023年度プレゼンテーション・審査会 (5/27)

6月 / June
2023年度採択プロジェクト発表 (6/1)
プロジェクト活動開始 (6/5)
活動説明会 (6/5)
湖風夏祭 (6/17)

「おうみらくぎプロジェクトレポート」発行開始

7月 / July
スキルアップ講座 (7/11)
滋賀県立大学オープンキャンパス (7/22.23)

10月 / October
スキルアップ講座

11月 / November
湖風祭 (11/4.5)
2023年度中間報告会

3月 / March
活動実績報告会

4月 / April
2023年度活動報告会

ウェブサイトの情報が充実!

各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがありさらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知る事ができます。

プロジェクトレポート発行中!

事務局のスタッフが取材、プロジェクトの生の様子を伝えていきます。レポートは近江楽座のウェブサイトか、学内の掲示板でチェック!

近江楽座でスキルアップ!

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。

そろそろ会でチーム間の交流も!

楽座っ子同士の交流会“そろそろ会”の企画も行っているミィ!他のチームの学生と交流できるチャンス!みんな集まれー!!

PROFILE

近江楽座学生委員会

近江楽座を更に推進していくことを目的にプロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を超えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成していくことを目指しています。

近江楽座専門委員会

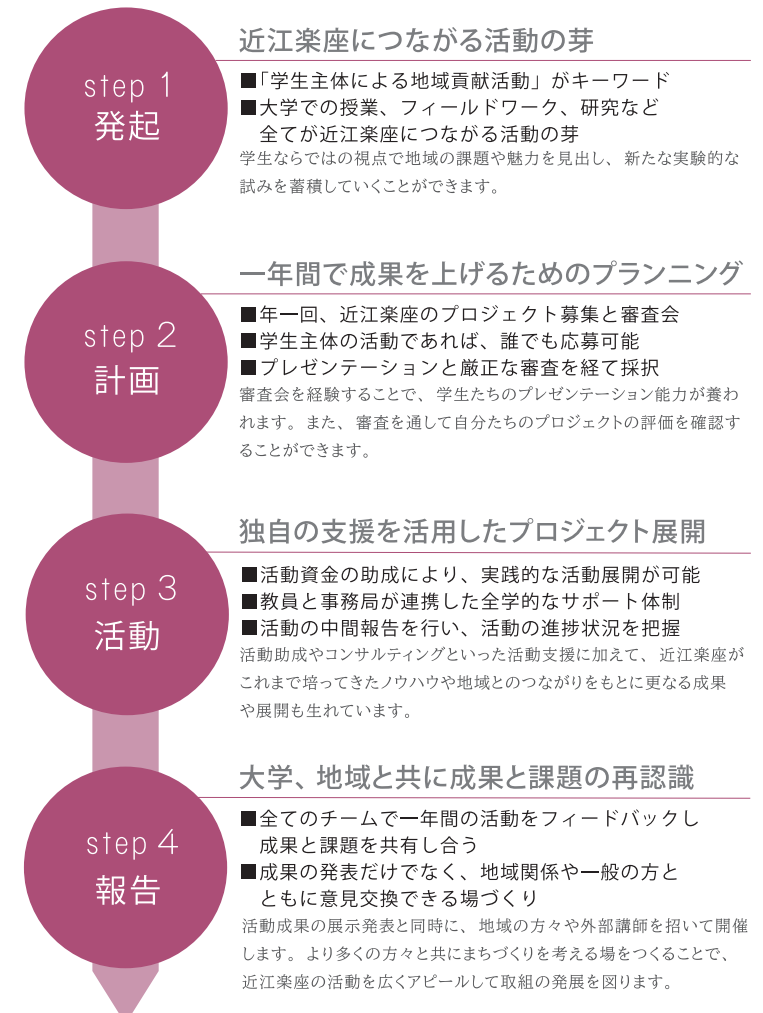
滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生全体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局

近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果をまとめ、報告会の企画・実務等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問い合わせ窓口や活動紹介印刷物の発行、ホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。

「近江楽座」=学生の力を活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

主な流れ



プレゼンテーション



交流会



中間報告会



成果報告会

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

— VOICE / 先輩の声 —

北野大輔さん
(滋賀県農業技術振興センター技師)
滋賀県大 BASSER'S (2012～2015)



貴重な経験であることを意識すれば必ず将来の自分の強みに変えられます。逆に言えば、意識しなければこの貴重な経験は無駄になってしまいます。コロナ禍の中の活動で大変なこともあるかと思いますが、その経験を自分の力に変えて将来に繋げてほしいです。

私は生き物研究会で代表を務めた後に大学院に進学し、現在は県の農業技術振興センターで働いています。プレゼンや地域の方々との交流といった近江楽座の活動の経験は、学生の間は気がつかなかったものの社会に出た今の自分の大きな糧になっています。書類の作成やプレゼンの準備などの作業は意識すれば必ず将来の自分の強みに変えられます。逆に言えば、意識しなければこの貴重な経験は無駄になってしまいます。コロナ禍の中の活動で大変なこともあるかと思いますが、その経験を自分の力に変えて将来に繋げてほしいです。

廣瀬奈々さん
(株式会社木の家専門店 谷口工務店)
とよさと快蔵プロジェクト (2013～2016)
近江楽座学生委員会 (2015～2018)



町の人との関わりを大切にしたい

私は、とよさと快蔵プロジェクトでマルシェなどのイベント運営や、ゲストハウスの改修に携わっていました。実際に手を動かして、試行錯誤しながら形にすることは、座学では得ることができない体験でした。近江楽座での活動をする上で大切にしたいことは、町の人との関わりです。積極的に関わっていくことで、より深く考えるようになり、今後の活動の発展に繋がると 생각합니다。

「近江楽座 (おうみらくぎ)」とは?
滋賀県立大学の「スチューデントファーム「近江楽座」- まち・むら・くらしふれあい工舎 -」は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。2004年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代 GP)」に採択され、2006年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取組として、学内外で高く評価されました。そして、翌2007年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを生かし、更なる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局 (地域共生センター) の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

- **活動助成システム**
「近江楽座」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- **コンサルティングシステム**
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介、各種講習会の開催など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- **活動情報の発信・共有システム**
中間報告会や活動報告会で活動の成果を共有・発信するとともに、ホームページやSNS、パブリシティなどにより活動の情報発信をサポートします。

プロジェクトタイプ

これまでの19年間で延べ426のプロジェクトが活動を展開しています。

- **Aプロジェクト (学生主体型プロジェクト)**
SDGsの視点を踏まえ「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集し、プレゼンテーションと審査を行い、支援するプロジェクトを選定しています。また、これまでの近江楽座での実績をもとに更なるステップアップを目指し、活動資金の支援を必要としないプロジェクトを特別にSプロジェクトとして選定しています。
- **Bプロジェクト (地域協働型プロジェクト)**
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題の中で、学生が中心になって取り込むのがふさわしいものについて、学生主体のグループを募集し、指導教員、地域共生センターおよび依頼先とが協働でプロジェクトに取り組みます。現在、「県営開出今団地コミュニティ再生プロジェクト」(2016～)に取り組んでいます。

Aプロジェクト
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動プロジェクト。
↳ Sプロジェクト
活動資金の助成を必要とせず、これまでの実績をもとにステップアップを目指す取組

Bプロジェクト
学生が主体となって取り組むのがふさわしい自治体や企業等から提示された課題に、学生チームと依頼先とが協働で取り組むプロジェクト

未来人材基金への寄付が
近江楽座の活動資金になります。

↑詳細はこちらまで

近江楽座 2023

学生も
大学も
地域も、

いっしょに育つ。

